

会津美里町観光振興計画 概要版

平成 28 年 2 月

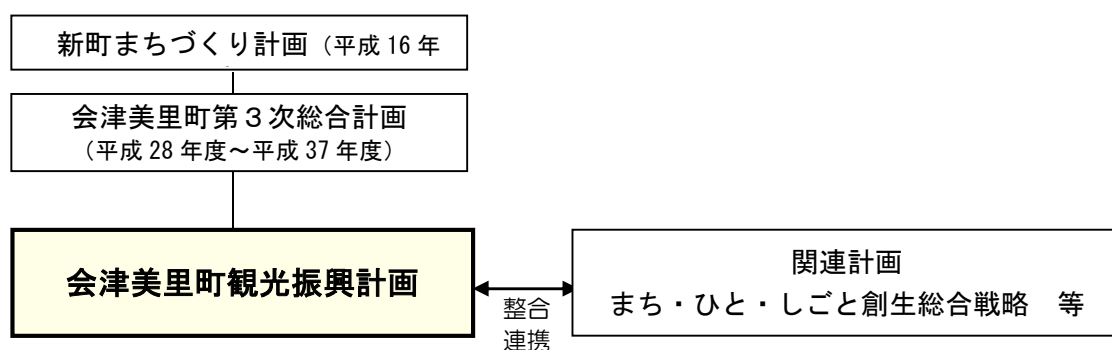
1. 計画の目的

多くの観光資源を有しながらも、必ずしも活かしきれていない状況を見つめ直し、交流人口を増加させるため、会津美里町第3次総合計画の個別計画として「会津美里町観光振興計画」を策定する。この計画では、これまでイベント開催が中心だった会津美里町の観光から、季節に合わせた良さを楽しんでもらう、行政・観光協会・観光業者・交通業者・商工業者・住民等との間で共通の認識をもって、住民全体でおもてなしをする着地型観光※を実現していく仕組みを明確にし、観光立国推進基本法にうたわれている意義を踏まえ、地域全体が活性化することを目的とする。

※【着地型観光】旅行者を受け入れる地域（着地）側が主体となり、その地域ならではの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する観光の形態。

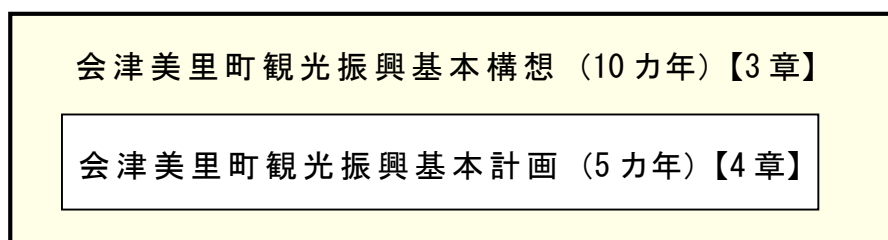
2. 計画の位置づけ

本計画は、上位計画となる第3次総合計画、及びまち・ひと・しごと創生総合戦略等の関連計画と整合・連携を図る。



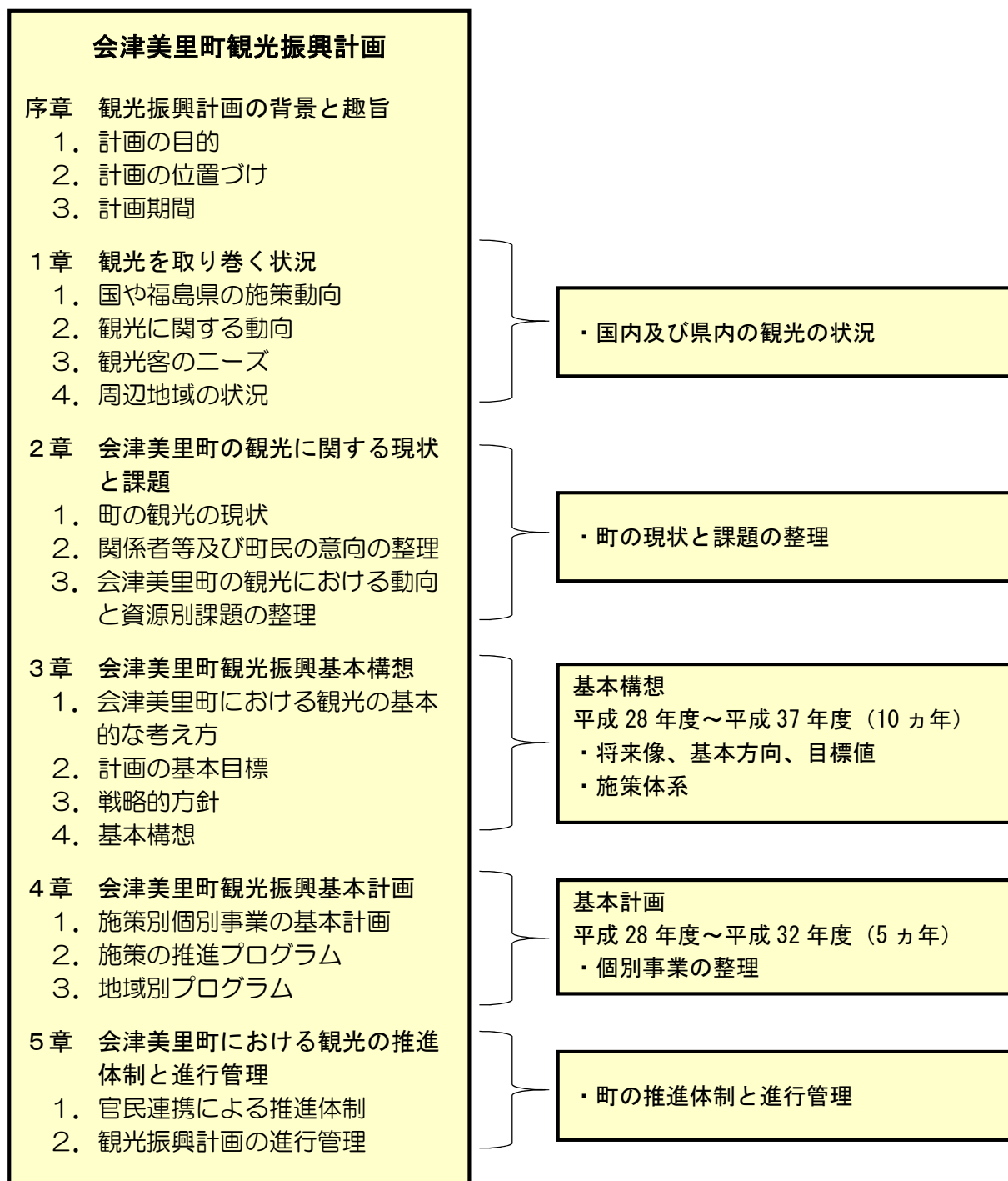
3. 計画期間

本観光振興計画は、基本構想（3章）と基本計画（4章）からなる。基本構想は、会津美里町第3次総合計画の計画期間に合わせ、平成28年度～平成37年度の10カ年の構想とし、基本計画は、平成28年度～平成32年度の5カ年計画とする。



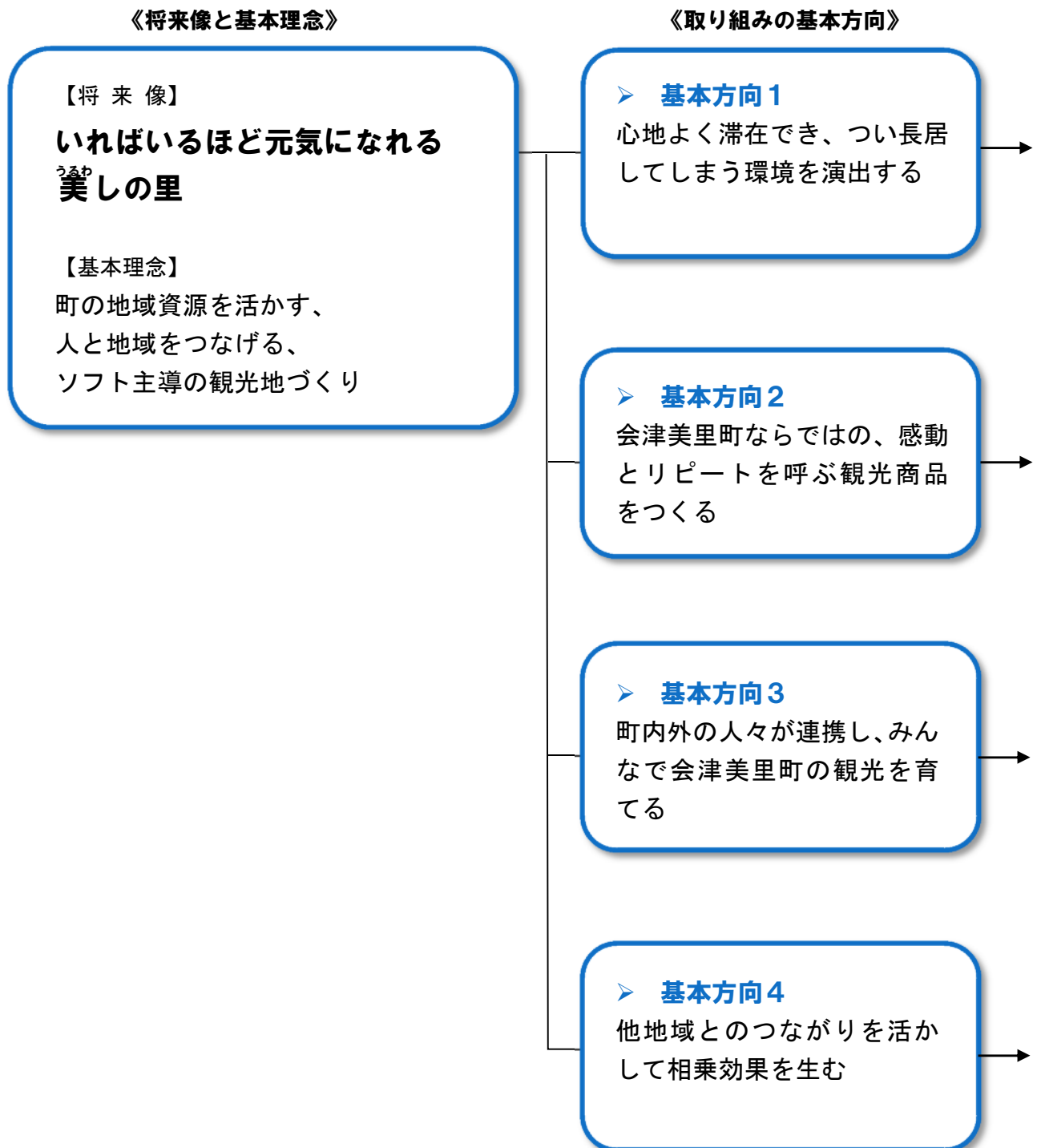
4. 計画の構成

本計画は序章及び5つの章からなる。1章～2章で、国内、県内、及び町内の観光の現状と課題を整理し、3章では将来像や目標値等による10カ年の基本構想を、4章では個別事業による基本計画をまとめ、5章で計画の推進体制と進行管理について示す。



5. 会津美里町の観光の基本的な考え方

本観光振興計画では、次の将来像及び基本理念とともに、その実現に向けた4つの基本方向を示し、これに基づき4つの施策の柱と17の戦略プログラムを示す。



《4つの施策の柱》

《17の戦略プログラム》

【 】内は観光振興計画該当ページ

A. 観光地としての
受け入れ基盤整備

1. 既存イベントを活かした
観光の拡充【p76】

2. まちなか観光の構築【p78】

3. 宿泊拠点の整備【p79】

4. 立ち寄り拠点の整備【p79】

5. 二次交通網の拡充【p80】

B. 着地型観光の確立

6. ものづくり体験ツアーの
パッケージ化【p81】

7. グリーン・ツーリズムの育
成【p82】

8. 歴史文化ツーリズムのパ
ッケージ化【p84】

9. スポーツ・ヘルス・ツーリス
ムのパッケージ化【p85】

C. 観光まちづくりの
推進

10. 会津美里町の観光の推進
体制の構築【p86】

11. いきがい観光の推進【p87】

12. UIターンの促進、及び
連携推進【p88】

13. 町の観光を担う人材の育成
【p89】

14. ターゲットに応じた情報発
信・プロモーション【p90】

D. 地域連携による
観光事業の拡大

15. 広域連携による観光パッ
ケージの拡大【p92】

16. 友好姉妹都市等との交流観
光の促進【p92】

17. インバウンド観光の充実
【p93】

6. 会津美里町観光振興計画の推進プログラム

各戦略プログラムの具体的事業について、長期（10年後、～H37年）までの推進プログラムを示すとともに、町の観光振興全体に関わるものを「重点プログラム」として位置付ける。

■会津美里町観光振興計画の推進プログラム ※具体的事業の内、新規・拡充のみ掲載、事業名は簡略化

| | 戦略プログラム (太字: 重点プログラム) | 短期 (～H30年) | 中期 (～H32年) | 長期 (～H37年) |
|-------------------------|---|---|--|---------------------------|
| A 観光地としての受け入れ基盤整備 | 1. 既存イベントを活かした観光の拡充 | 1-①観光ルートの開発【p76】 1-⑤飲食店が「it」(WEB、マップ)【p77】 | | |
| | | 1-②関連イベント企画・実施【p76】 1-③商店街の物産館化【p77】 | | |
| | 2. まちなか観光の構築 | 2-①街並みや田園景観の修景整備【p78】 | | |
| | | 2-②空き店舗等の情報発信【p78】 | 2-③空き店舗等を活用した計画的な拠点整備【p78】 | |
| | 3. 宿泊拠点の整備 | | 3-①農家民宿運営システム【p79】 3-②温泉宿泊施設の再整備【p79】 | |
| 4. 立ち寄り拠点の整備 | 4-①立ち寄り拠点の検討【p79】 4-②情報提供拠点のネットワーク化【p79】 | | | |
| 5. 二次交通網の拡充 | 5-①臨時移動手段【p80】 5-②レンタサイクル【p80】 | | | |
| | 5-③デマンドタクシーの観光利用の拡充【p80】 | | | |
| | | | | |
| B 着地型観光の確立 | 6. ものづくり体験ツアーのパッケージ化 | 6-①ものづくり体験プログラムや商品づくり【p81】 | | 6-③クラフト系・ものづくり交流拠点整備【p81】 |
| | | 6-②技術後継者育成【p81】 | | |
| | 7. グリーン・ツーリズムの育成 | 7-①観光農園整備【p82】 7-②ワインツーリズム創出【p82】 7-④グリーン・ツーリズム推進【p82】 7-⑤年間を通じた体験プログラム【p83】 | | |
| | | 7-③後継者交流【p82】 | | |
| | 8. 歴史文化ツーリズムのパッケージ化 | 8-①着地型旅行商品の開発【p84】 8-④天海サミットの開催【p85】 | | |
| | 8-②文化財のストーリーづくり【p84】 8-③旧街道等を活かした景観形成【p84】 | | | |
| 9. スポーツ・ヘルスツーリズムのパッケージ化 | 9-①学会・研究会・合宿の誘致【p85】 | | 9-②健康・福祉拠点整備【p85】 | |

| | 戦略プログラム (太字: 重点プログラム) | 短期 (~H30年) | 中期 (~H32年) | 長期 (~H37年) |
|---------------------------|--|---|------------|----------------|
| C 観光まちづくりの推進 | 10. 会津美里町の観光の推進体制の構築 | 10-①推進体制の構築【p86】 10-⑤観光振興計画の進捗状況の確認【p86】 10-⑥各種指標の把握【p86】 | | |
| | | 10-②観光百人衆【p86】 10-③人材バンク【p86】 | | |
| | | 10-④情報共有【p86】 | | |
| | 11. いきがい観光の推進 | 11-①六次産業化の支援【p87】 | | |
| | | 11-②観光交流に関する勉強会 11-③町内外の参加によるプログラム等開発 | | 【p87】 【p87】 |
| 12. UIターンの促進、及び連携推進 | 12-①定住・二地域居住PR【p88】 | | | |
| | 12-②観光サポーター制度【p88】 12-③創業支援の仕組み構築【p88】 | | | |
| 13. 町の観光を担う人材の育成 | 13-③プロフェッサー人材の確保【p89】 | | | |
| | 13-①観光ガイドの育成【p89】 13-②ガイド利用の有料化【p89】 13-④おもてなしの強化【p89】 | | | |
| 14. ターゲットに応じた情報発信・プロモーション | 14-①観光情報の充実と発信方法検討【p90】 14-②町民リポーターによる情報発信【p90】 14-③景観コンテスト【p90】 14-⑤日常生活疑似体験の動画配信【p90】 14-⑥観光プロモーション推進【p91】 | | | |
| | 14-④wi-fi環境等の整備【p90】 14-⑧音声ガイドサービス【p91】 | | | |
| D 地域連携による観光事業の拡大 | 15. 広域連携による観光パッケージの拡大 | 15-①観光プラン、モニターア-実施(継続)【p92】 15-②広域プラットフォーム参加(継続)【p92】 | | |
| | | 16-①友好・姉妹都市での誘客(継続)【p92】 | | |
| | 17. インバウンド観光の充実 | 17-⑤wi-fi環境等の整備【p93】 17-⑦インバウンド誘致に向けた情報発信【p93】 17-⑧旅行会社等へのPR【p94】 17-⑨インバウンド消費の推進【p94】 | | |

7. 地域別プログラム

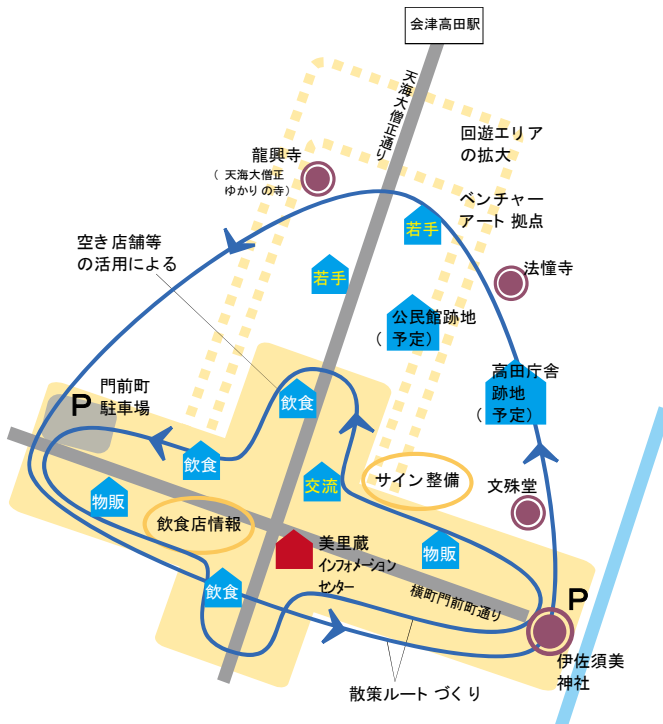
3つの各地域及び町全体において、重点的に取り組むべき個別のプログラムを設定する。これらは施策メニューのパッケージにより展開することで、地域内または町全体への波及効果が期待できる。

- 地域別プログラム1：高田地域
- 地域別プログラム2：本郷地域
- 地域別プログラム3：新鶴地域
- 地域別プログラム：町全体

地域別プログラム1：高田地域「空き店舗活用と連動した伊佐須美神社横町門前町の形成」

＜主旨＞空き店舗等の活用も含めながら、伊佐須美神社を中心とした横町門前町を形成することで、回遊性を創出する。

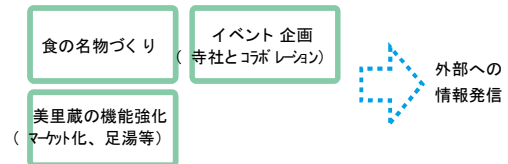
| プログラムの展開 | 主な事業 |
|---|--|
| <p>1) 伊佐須美神社参拝後の楽しみ方を提案・企画し、滞在時間の延長を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲食店に関する情報提供 テーマやストーリーに基づいた近隣寺社仏閣等の散策ルートづくりや、天海大僧正に関する情報提供。 寺社と連携したイベント等の実施（住職とお茶会、お堂でヨガ、境内で焼物市、ご朱印巡り等） 食の名物づくり（天海長寿食、カレー等） これらについて外部に向けた情報発信（SNSやアプリ等の活用による） | <p>1-⑤WEBによる飲食店ガイド・マップの作成、提供【p77】</p> <p>8-①着地型旅行商品開発支援事業 p84】</p> <p>8-②文化財を活用したリピーター客層に対応できる素材・ストーリーづくり【p84】</p> <p>14-①観光情報の充実と発信方法の検討【p90】</p> <p>14-⑧音声ガイドサービス事業【p91】</p> |
| <p>2) 空き店舗等の活用により街並みを形成し、人が集まり回遊するしかけをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 天海大僧正通りと横町門前町通りに、空き店舗等を活用した観光や地域の拠点を配置 回遊の拠点となる美里蔵の強化（マーケットへのリニューアル、足湯設置等） 回遊を支援するサイン整備 通りの愛称募集や整備に合わせた関連イベントを実施し、対外的に門前町をアピール | <p>1-③商店街活性化事業【p77】</p> <p>1-④観光施設整備事業【p77】</p> <p>2-②空き店舗等活用推進事業（空き店舗等の情報発信）【p78】</p> |
| <p>3) 回遊エリアを広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い人やベンチャーのオフィス、アトリエ等を誘導し、利用の幅を広げ、雇用創出や人材育成につなげる。 将来的には、旧庁舎跡地及び会津美里町公民館跡地等の活用事業を含めた回遊エリアを形成する。 | <p>2-③空き店舗等を活用した計画的な拠点整備【p78】</p> <p>12-①定住・二地域居住促進事業【p88】</p> <p>12-③各種創業支援の窓口の設定【p88】</p> |
| <p>4) 伊佐須美神社御社殿造営</p> <ul style="list-style-type: none"> 御社殿の造営による観光ニーズは拡大すると考えられる。進捗状況の把握に努め、周辺環境の整備に努める。 | — |



【推進体制】

- ◎観光まちづくり推進協議会
- ◎観光協会
- ◎行政
- ◎町民有志
- 寺社
- 大学等

※◎：主たる推進主体 ○：連携・協力

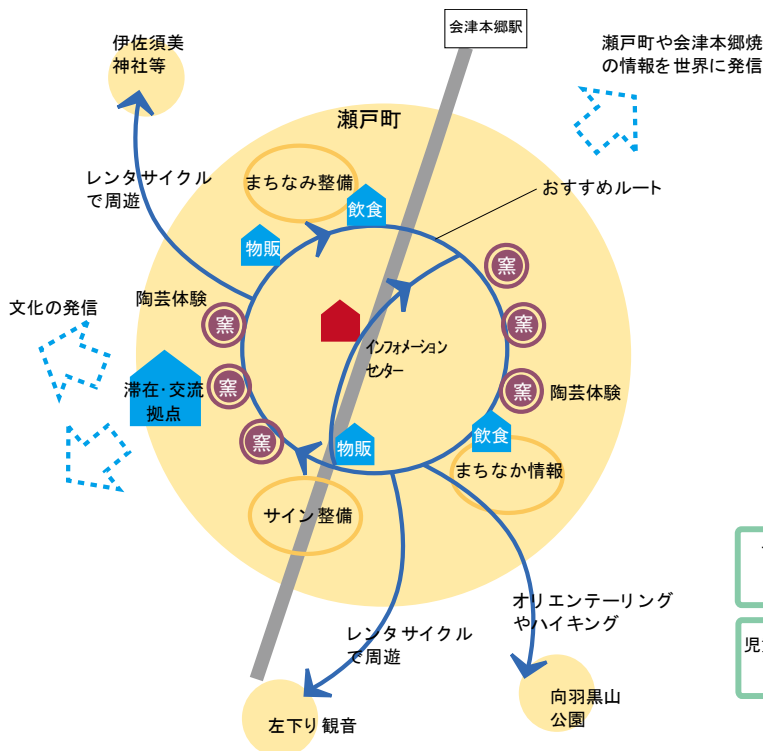


【観光振興計画 p98-99】

地域別プログラム2：本郷地域「会津本郷焼体験と瀬戸町散歩を楽しむ焼物文化の里づくり」

＜主旨＞陶芸体験に加え、窯元めぐりをしながら、瀬戸町散歩を楽しめる環境を整備し、会津本郷焼と瀬戸町のサポーター（リピーター）を増やす。

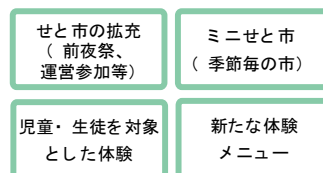
| プログラムの展開 | 主な事業 |
|--|---|
| <p>1) 散歩を楽しませ、滞在時間を延ばすためのまちなかの仕掛けづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> おすすめルートの設定と情報提供、サイン整備、街並み整備、飲食や物産販売などの充実を図っていく。 | <p>1-①まち歩き観光ルートの開発とPRキャンペーンの実施【p76】</p> <p>1-③商店街活性化事業【p77】</p> <p>1-④観光施設整備事業【p77】</p> <p>1-⑤WEBによる飲食店ガイド・マップの作成、提供【p77】</p> <p>2-①街並みや背景となる田園景観の修景整備【p78】</p> |
| <p>2) 新たな楽しみを創出し、新たなファンやリピーターを獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の陶芸体験に加えた新たな体験メニュー（例えば、食、茶道、華道、他の工芸品等とのコラボレーション）を開発する。 ミニせと市等の小規模イベントの開催。 せと市の拡充（前夜祭、運営参加など）により、新たな楽しみ方を提供する。 児童・生徒を対象とした体験プログラムの実施。 海外への情報発信を積極的に行う。 | <p>6-①ものづくり体験プログラムや商品づくり【p81】</p> <p>17-⑦インバウンド誘致に向けた情報発信【p93】</p> |
| <p>3) 瀬戸町を拠点に町内のスポットを巡る仕組みを確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗り捨て可能なレンタサイクル、周遊マップ作成・提供、観光ガイドを実施する。 向羽黒山城跡を活かし、オリエンテーリングコースやハイキングコースを設置する。 | <p>5-②レンタサイクルの導入【p80】</p> <p>8-②文化財を活用したリピーター層に対応できる素材・ストーリーづくり【p84】</p> <p>13-①観光ガイドの育成【p89】</p> |
| <p>4) 長期滞在と文化の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊・滞在型活動・交流拠点となる施設を空き施設の活用により確保し、滞在型の楽しみ方を提供するとともに、焼物・クラフトのまちとして文化の発信を推進する。 | <p>6-③クラフト・ものづくり交流拠点の整備【p81】</p> |



【推進体制】

- ◎観光まちづくり推進協議会
- ◎観光協会
- ◎行政
- ◎観光プラットフォーム組織（DMO）
- 窯元・焼物組合

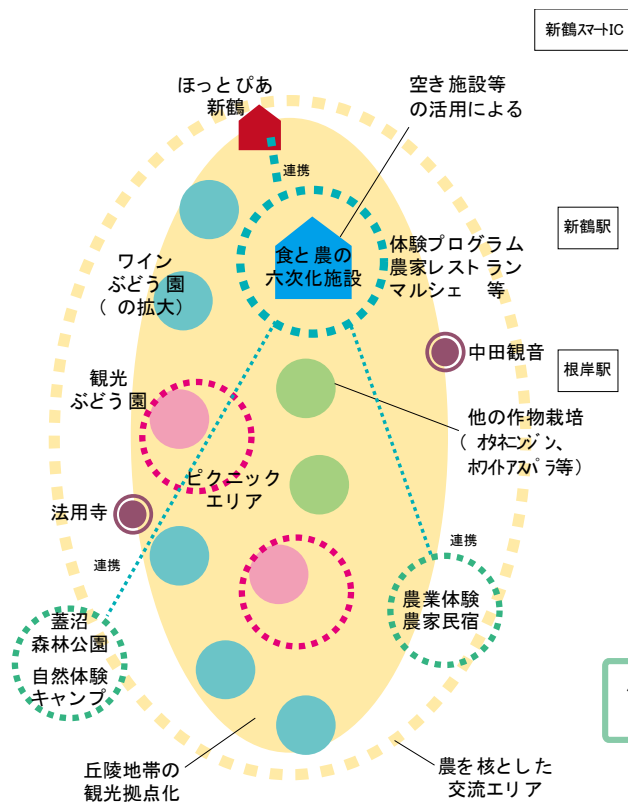
※◎：主たる推進主体 ○：連携・協力



地域別プログラム3：新鶴地域「農と食を中心とした丘陵地帯の観光拠点化」

＜主旨＞観光農園やワインツーリズム等農と食による観光交流拠点を創出するとともに、地域内の温泉施設等とも連携し、滞在型の観光拠点を形成する。

| プログラムの展開 | 主な事業 |
|--|---|
| <p>1) 観光農園による交流と憩いの場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 丘陵地帯のぶどう農場等を観光農園として開放し（既存観光農園含む）、景観を活かしたピクニックエリアの整備等含めて、交流と憩いの場として活用する。 | <p>2-①街並みや背景となる田園景観の修景整備【p78】</p> <p>7-①観光農園エリアの整備【p82】</p> |
| <p>2) 六次産業化利用できる施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き施設等の活用により食と農の六次産業化施設を整備し、会津美里をブランド化する。 他地域のワイナリー等との連携・交流による醸造家等の養成。 ワインぶどうの栽培技術の継承 | <p>6-②技術後継者育成事業【p81】</p> <p>7-②ワインツーリズムの創出【p82】</p> <p>11-①地域資源を活用した観光地魅力創造事業【p87】</p> |
| <p>3) 六次産業化施設及び周辺丘陵地帯を観光拠点化し、滞在時間延長、雇用創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農と食に関する体験プログラム等の実施と特産品の開発 地域の食材や加工品を活かした農家レストランやマルシェの併設 温泉施設と連携した宿泊プログラム ぶどう農園の拡大とオタネニンジン、ホワイトアスパラ等食材の開発 | <p>3-②ニーズに対応した温泉宿泊施設の再整備【p79】</p> <p>7-①観光農園エリアの整備【p82】</p> <p>7-②ワインツーリズムの創出【p82】</p> <p>7-⑤年間を通じた体験プログラムづくり【p83】</p> <p>11-①地域資源を活用した観光地魅力創造事業【p87】</p> |
| <p>4) 農と自然を中心とした観光プログラムとの連携による交流エリアの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の農家による農業体験・農家民宿や蓋沼森林公園等と連携した自然体験などのプログラムとも連携し、「農」を核とした交流エリアを形成する。 児童・生徒が体験・研修できる受け入れ体制を整備する。 | <p>3-①農家民宿の創業・運営支援システムの構築【p79】</p> <p>7-④グリーン・ツーリズムの推進（農資源を活かした体験メニューづくりと実施体制）【p82】</p> |



- 【推進体制】**
- ◎民間事業者
 - ◎民間事業者（農家）
 - ◎観光プラットフォーム組織（DMO）
 - 観光まちづくり推進協議会
 - 行政
 - 外部専門家
 - 民間事業者（宿泊事業者）
- ※◎：主たる推進主体 ○：連携・協力

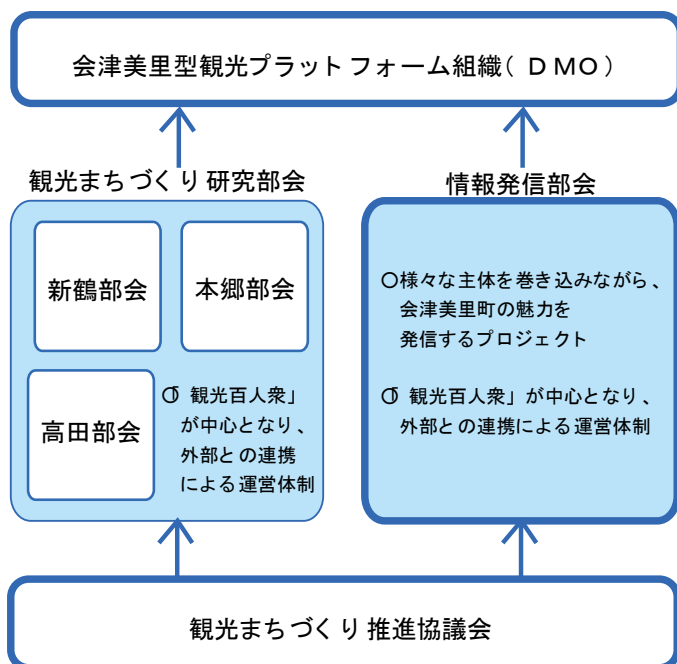
他施設等との連携・交流

ワインぶどう栽培技術の継承

地域別プログラム4：町全体「情報発信からはじまる会津美里型観光プラットフォーム(DMO)の構築」

<主旨> 既存組織や個人が協働し、情報発信手法の検討・実施等を手始めに、段階的に拡充し、会津美里町にふさわしい推進体制を構築する。

| プログラムの展開 | 主な事業 |
|--|--|
| <p>1) 既存組織が参加する連携組織を立ち上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光振興計画を実行するための連携組織として、「観光まちづくり推進協議会」を立ち上げる。 推進協議会及び部会には、既存組織や観光事業者等が横断的に参加し、様々なプロジェクト、施策の推進を通じて、必要な人材を発掘・育成していく。 | <p>10-①推進体制の構築【p86】 10-⑤観光振興計画の進捗状況の確認、見直し【p86】</p> |
| <p>2) 情報発信に関する具体的なプロジェクトを通じて連携体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 推進協議会内に、事業を推進する部門のひとつとして「情報発信部会」を設置する。 情報発信部会では、地元住民、町外の人、外国人等様々な主体を巻き込みながら、町の魅力を発信するプロジェクト（例えば、会津美里町の魅力写真コンテスト等）を実施する。 これにより、知られざる地域の魅力を発掘し、町民の関心を高めるとともに、会津美里町の話題づくりと知名度向上を目指す。 その他情報発信に関わるプロジェクトを検討、実施する。 事業の実施にあたっては、「観光百人衆」が中心となり、外部の人を含めた様々な連携による運営体制を構築していく。 | <p>10-①推進体制の構築【p86】 10-②「観光百人衆」の立ち上げ【p86】 10-④観光情報共有化推進事業【p86】 14-②SNSを用いた町民レポーターによる身の回りの情報の拡散【p90】 14-③SNSを活用した魅力的景観コンテストの実施【p90】</p> |
| <p>3) 並行して、まちづくりの研究部会を立ち上げ、着地型観光商品の具体化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、地域別部会を設置し、3つの地域毎に特色のある着地型観光商品を開発する。 | <p>10-①推進体制の構築【p86】</p> |
| <p>4) 町の観光の推進組織として、自立した運営体制を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の発信と合わせた観光客の受け入れや着地型観光商品の販売を担う。 | <p>10-①推進体制の構築【p86】</p> |



【推進体制】

◎行政・観光協会・振興公社・商工会・民間事業者等

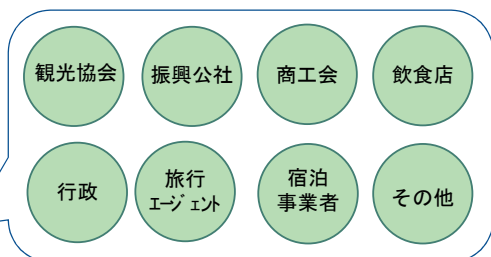
◎観光まちづくり推進協議会

◎観光プラットフォーム組織(DMO)

○町民

○外部専門家等

※◎：主たる推進主体 ○：連携・協力



【観光振興計画 p104-105】

8. 計画の基本目標

会津美里町における観光産業の確立を目指し、現在の観光入込を基礎に、観光客の滞在時間の延長などによる消費額の拡大を図りつつ、入込数を拡大していく。そこで、一人当たりの観光消費額と観光入込客数を計画の全体目標とする。なお、目標値は、5カ年基本計画の最終年度である平成32年度とする。

■基本目標

| 指標 | 現況値(H26) | 目標値(H32) | 算出方法 |
|------------------|-----------|-----------|--|
| 一人あたりの観光消費額【B】 | 2,452円 | 3,720円 | ・主な観光関連施設から入込数及び売上額（主力商品の平均単価）等のデータを集計し、これらの合計金額を合計入込数で割る。 |
| 観光入込客数 | 205万人 | 210万人 | ・「福島県観光客入込状況」発表の公式数値 |
| 観光施設における入込客数※【A】 | 6.3万人 | 6.8万人 | ・入込数がカウントできる主な観光関連施設からデータを集計し、その合計。 |
| 観光消費額 | 1億5,448万円 | 2億5,296万円 | (【A】 観光施設における入込客数) × (【B】 一人当たりの観光消費額) |

※寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く

■個別目標

| 施策の柱 | 指標 | 現況値(H26) | 目標値(H32) | 備考(データ入手) |
|---------------------|---------------------|----------|----------|-------------------------------|
| A. 観光地としての受け入れ基盤の整備 | 観光宿泊客数 | 9,938人 | 14,000人 | ・各施設への聞き取り(行政が把握) |
| | 観光レンタルサイクル貸出件数 | 7件 | 100件 | ・観光協会等で把握。 |
| B. 着地型観光の確立 | 会津本郷焼事業協同組合の売上額 | 112百万円 | 224百万円 | ・会津本郷焼事業協同組合への聞き取り(会津本郷焼振興計画) |
| | 歴史文化事業・施設等への町外参加者数 | 265人 | 335人 | ・行政が把握 |
| C. 観光まちづくりの推進 | ポータルサイトへのアクセス数 | 115,961件 | 230,000件 | ・町ホームページ及びミサトノ(観光協会)へのアクセス数。 |
| | 観光ガイドの回数 | 56件 | 70件 | ・観光協会が把握。 |
| D. 地域連携による観光事業の拡大 | 海外からのポータルサイトへのアクセス数 | — | 15,000件 | ・町ホームページへの海外からのアクセス件数 |
| | 観光施設へのwifi環境の整備箇所数 | — | 5カ所 | ・行政が把握 |

【観光振興計画 p69-70】

9. 観光振興計画 町民ワークショップの結果

町民目線による地域資源の活用アイデアを把握するとともに、町民の観光への関心を高めること等を目的に、町民ワークショップを開催した。

■開催概要

| | |
|--------------|---|
| 開催日時 | 平成 27 年 11 月 6 日（金）19：00～21：30 |
| 開催場所 | 会津美里町役場（本郷庁舎）2階 ふれあいセンター |
| 参加人数 | 50名（男性 32名、女性 18名） |
| テーマ | 会津美里町への観光客を増やすために何ができるか、必要か？ |
| ワークショップの進行方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ A～Eの5つの班に分かれて、上記テーマについて意見を出し合った。 ・ 前半では、「観光客を増やし、町にお金を落としてもらうために、町の資源を使って、誰に向けて何ができるか」をテーマに自由にアイデアを出し合った。その中から、特に重要・面白いと思うアイデアを各班で2件選定した。 ・ 後半は、選定した2つのアイデアについて、「実現するには何をしたらよいか」を議論した。 ・ 最後に、各班代表が後半の議論を発表し、アドバイザーに講評を頂いた。 |

■各班の議論の概要

各班の後半の議論の概要について、各班の発表をもとに整理した。

A班

・ A班では、町の産品を販売する直売所と、会津本郷焼体験について議論した。

| | |
|-------------------|---|
| タイトル | 菜の花の油等の加工品の直売所 |
| 概要 | ・ 販売拠点で特産品を売る |
| どこで | <ul style="list-style-type: none"> ・ 車が止められる場所 ・ 役場の前 |
| 誰に向けて | ・ 女性 |
| 誰がやる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者 ・ 商工会 |
| 具体的な内容（実現に必要なこと等） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点をつくる ・ 軽トラ市 ・ 家族で過ごせるスペースをつくる |

| | |
|-------------------|--|
| タイトル | 会津本郷焼を体験する |
| 概要 | ・ 同上 |
| どこで | ・ 窯元 |
| 誰に向けて | ・ 女性 ・ 地元の学校の児童・生徒 ・ 県外からの修学旅行生 |
| 誰がやる | ・ 焼物組合（窯元）と町民がコラボレーションすることにより相乗効果を図っていきたい。 |
| 具体的な内容（実現に必要なこと等） | ・ 周知徹底するために、フリーペーパー等でPRする。 ・ SNSで広める。 ・ 旅館等で前日に予約できるような体制を整える。 |

B班

・ B班では、「体験型観光の充実（まちあるき含む）」と「おいしいもの（お土産含む）」を選定したが、最終的には合わせて議論した。

| | |
|-------------------|---|
| タイトル | 体験型観光の充実（まちあるき含む）＋おいしいもの（お土産含む） |
| 概要 | ・ 体験メニューをつくり、まちなかの回遊性を上げる。 |
| どこで | ・ 町内全域 ・ コミュニティカフェをつくる（空き店舗を活用して） |
| 誰に向けて | ・ 観光は女性が主導権を握るものなので、女性にとって魅力があるようなメニューを作り売り出していく。 |
| 誰がやる | ・ 行政では自由にできないことが多々あるので、一貫性を持たせるために実行委員会を立ち上げ実施する。 |
| 具体的な内容（実現に必要なこと等） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高田梅、みしらず柿等の特産品を体験型観光に活かす。例えば、梅酒や梅漬けを実際に作って頂き、お土産として持って帰ってもらう。 ・ 地元では当たり前で面倒な草むしりや雪掻きなど、四季折々の生活文化の体験をコンセプトにしてはどうか。都会の人にとっては非日常的な体験である。 <p><以下、その他の付せんの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験メニューのセット化、ブラッシュアップ ・ 手びねりと四季の〇〇体験 ・ 田舎体験 ・ 柿もぎ ・ 梅ペースト ・ 梅の漬け汁でそばを食う（パスタを除く） |

C班

- ・C班では、ご当地グルメとしての天海長寿食と町民参加型の情報発信について議論した。

| | |
|-------------------|---|
| タイトル | 天海長寿食をご当地グルメに |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状では食べるものがないので。 |
| 誰に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・健康志向の方 ・女性 ・高齢者 |
| 具体的な内容（実現に必要なこと等） | <ul style="list-style-type: none"> ・天海さんが徳川家康に不老長寿の料理として納豆を出したというエピソードがあるので、納豆を掘り下げてはどうか。 ・納豆コンテスト、納豆スイーツ等。 ・農家や町民みんなが作れるような形で、納豆にスポットあてて、天海をキーワードにご当地グルメを作ってはどうか。 ・SNSではインスタグラムなど写真付きで拡散されていくので、絵になる食べ物、ビジュアルを大事にしていく必要がある。 <p><以下、その他の付せんの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津美里町産のいろんな豆を使った納豆。 ・90歳以上の人の食べ物 ・納豆の歴史の掘り下げ |

| | |
|-------------------|--|
| タイトル | 1人から10人へ。自分の自慢したい事を作り情報発信する。 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの方の興味はそれぞれバラバラなので、これらを1つにまとめて観光として掘り下げていくことは難しいことである。 ・1つのイベントに1万人を集めるのではなく、町民のうち1000人くらいの方が情報発信して、1人10人ずつ集めて1万人を呼ぶような仕組みが作れないか。 |
| 誰がやる | (下記に個別に記載) |
| 具体的な内容（実現に必要なこと等） | <ul style="list-style-type: none"> ・地元の魅力を考えている1000人を町が見つかる、掘り起こす。 ・SNSが不得意な方にスポットを当てて、町が情報発信する。 ・みんな集まる市場（会津美里町にどのような人がいるのか見ることが出来る場）を作る。例えば、ホームページ上で、ある人をクリックすると、その方の活動や主催するイベント等を見ることができる。 ・今あるイベントを活用しPRする。会津美里町のウォーキング大会に参加した一部の方にちらしを配った結果、他の地域のウォーキングイベントにつながったということがあった。 ・町内在住の方を講師に講演会を開催し、地元の魅力を共有する。某ホテルでは、このような講演会を開催し成功しているという。 ・地元を知る勉強会を実施する。 ・それぞれの情報共有の場（ネットワーク）を町がいかに作るかが今後重要である。 |

D班

- ・D班では、町内にある自然や歴史、食べ物が美味しいこと、空気が美味しいこと、このような所に住んでいることを発信していけばよいのではないかと意見が出て、その結果を2つのアイデアにまとめた。

| タイトル | お酒を楽しめる場所 |
|-----------------------|--|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内にある酒蔵を活かして飲む場所を作る。 ・40年の歴史を有するぶどう畑があるが、さらにワイナリーがあったら、もっと素敵なのではないか。そして、ワインを飲ませるだけでなく、町で加工する肉や乳製品を販売する等、つなげていくことできるのではないか。さらに発展して、会津本郷焼を使ったり、女性が買物できる場所を作っても良い。 |
| 誰がやる | <ul style="list-style-type: none"> ・プレイヤーを探す |
| 具体的な内容 (実現に必要なこと等) | <ul style="list-style-type: none"> ・泊まる場所がないのが課題である。 ・ぶどう畑、地元牧場の乳製品(例えばアイスは売れる)、加工肉などがタイアップする。 ・地元の新聞記者に情報提供して発信してもらう。 <p><以下、その他の付せんの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアが取り上げやすいものを発信(キーワードになるもの)。 ・会津本郷焼のかけらで道路整備。 ・立地条件は関係ない。いかに発信するか。 ・観光としてのお酒。 |

| タイトル | 自転車での回遊を楽しむしかけ |
|-----------------------|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・山の景観、夜景、川、紅葉等町の自然の素晴らしさに関する意見がたくさん出たが、これらを取りまとめる方法として、今愛好家が増えているサイクリングを取り入れたらよいのではないか。自転車で回遊する中に、カフェ、歴史スポット、温泉等がある。 |
| どこで | <ul style="list-style-type: none"> ・山沿い、川沿い、田んぼの中を回れるようなコースを設定する。 |
| 具体的な内容 (実現に必要なこと等) | <ul style="list-style-type: none"> ・女性が好きなカフェがあると良い。 ・町民も知らない歴史もたくさんあるので、もっと知って頂けるようなガイドマップをつくる等の努力も必要である。 ・温泉は地元だけでなく、観光客が満足できるような温泉を作る。若者も訪れやすい温泉施設(スタンプラリー)。 ・そのためには行政によるサイン整備も必要である。現在も案内板は設置されているが、分かりにくい。 ・何かの体験をしたいニーズが女性にはある。まず、1回でできるプチ体験があり、次にリピーターで再び来訪して出来たものを持って帰るなど、幅広い体験メニューを検討していく必要がある。会津本郷焼以外で、町内で体験できることのリストアップ。 ・会津米をつかったメニューや高田せんべいなどの特産品など、自転車で巡りながら、独自の美味しい食べ物を食べることができれば、とても楽しいのではないか。 ・サイクリングの場合、冬場はどうするのかとの意見が付きものだが、冬場なりの楽しみ方を考えれば良い。マイナス面をプラスに考えていけば、幅広い観光が実現できるのではないか。歩くスキーやスパイクタイヤなど。 ・サイクリングに必要な道路や河川敷はすでに町内にあるので、すぐに動かすことができるプロジェクトではないか。 <p><以下、その他の付せんの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の斜面を四季折々の花で景観づくり |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・布物、小物等のアートクラフトを活かす。 ・電車やバスに自転車を積む。 |
|--|--|

E 班

- ・ E 班では、ワイナリーを中心とした観光拠点づくりと、寺社仏閣を楽しく巡るアイデアについて議論した。

| タイトル | ワイナリーをつくろう |
|-----------------------|--|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・新鶴地域にワイナリーを作る。 ・子どもを呼べる研修施設を作る。 ・会津美里産の野菜や米を使ったピザ等を提供する場を作る。 |
| どこで | ・新鶴地域 |
| 誰に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行等で子どもたちに来てもらい、ワインづくりの行程を学習する。 ・また、その子どもたちの親に向けて情報発信してはどうか。 |
| 誰がやる | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に、町内でワイナリーをつくろうという動きがある。 ・町内の牧場がチーズを提供する。そのチーズを食べながらワインを楽しめたら良い。 |
| 具体的な内容 (実現に必要なこと等) | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが来るので、ワインだけでなく、ぶどうジュース等子どもが楽しめるものも作る。 ・また、ぶどうだけではなく、会津美里産のりんごジュースや高田梅の梅酒等を作ってはどうか。 ・町内は「おしゃれ感」がない。鄙びたなかにも、きらっと光る雅なものがあると良い。ワイン祭りはなぜか焼肉でおしゃれ感がない。 |

| タイトル | 寺社仏閣を楽しく巡る |
|-----------------------|--|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・寺社仏閣周辺を土産物店等により活気づける。 ・体験型メニューを取り入れる。 ・キーワードを作る。 |
| どこで | ・三十三観音を中心とした町内の寺社仏閣 |
| 誰に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・若い人は個人 ・高齢者はバス・団体で ・会津若松市に来た観光客が会津美里町にも来てくれれば良い |
| 誰がやる | ・観光協会 |
| 具体的な内容 (実現に必要なこと等) | <ul style="list-style-type: none"> ・寺社仏閣専用アプリの整備。若者はパンフレットも見ずに、スマートフォンで事前に調べて観光する。また、小さな町の情報はネット以外では入手しにくい。 ・寺社仏閣にQRコードを設置し、これにより、各寺社仏閣の由緒やご利益等の情報を提供する。 ・パワースポット、恋愛、癒しを求めて、寺社仏閣を訪れる若者も多い。 ・若い人には、コスプレ好きや時代物が好きな人がいるが、このようなアニメ好きの人に向けた企画を検討する。コスプレをしてゆかりのある寺社仏閣を訪れる人もいる。 <p><以下、その他の付せんの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・天海はアニメの方が有名。 ・天海を活かすには何かストーリーが必要。例えば、天海＝明智光秀説等。 ・向羽黒山城の歴史は現時点ではマイナーである。 |